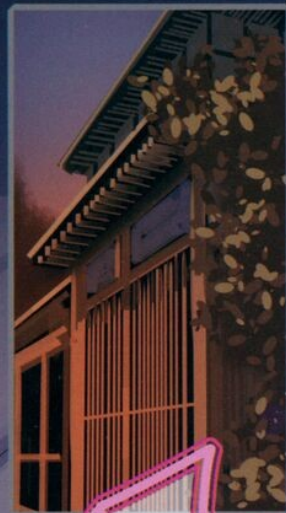




ち っ ち や い 二 の 本

Vol.13



僕はパパではない



父親と日常的に性交していた



彼女は『はなみ』
僕の親戚で幼馴染の…初恋の人の娘で



それが原因で一家は離散
彼女の両親は行方を晦ましたそうだ

彼女は行く当てがなく
僕が一人で棲む
この家に転がり込んだ

幼馴染そっくりだったので
ウチに来たその日に抱いた



はなみは朝になると
学校へ行く



毎晩実父と性交してたなんて
この姿からは想像できない



おじさん

いってきます



おじさん

ただいま



はなみが学校に行くのを見送り
また無為に1日が過ぎ去っていく



彼女が帰ってくると
かなえが帰ってきたようで嬉しい



ひゅ



彼女は母親の…
かなえの学生の頃にそっくりだ









無慈悲に
飲み込まれる！



軽いのに
熱くて圧が強く



ふふっ
わたしが上になるのは
初めてですね

おじさんて
えっちのとき
そんな顔してたんですね

なんだこれ…
はなみちゃんて
こんな娘だったっけ…？

どう?
おじさん

きもちいい?

激しい動きに呼応して
突き上げたくなる!

この子
こんな動きして…
こんな顔で笑うのか





今度はおじさんが動いてください
遠慮しなくていいので

でも眼鏡は
壊さないでくださいね

おじさんは
もっとできますよね？



そうでないと
わたしが気持ちよくないので

わたしのこと
ちゃんと見てください

お母さん
じゃなくて



じゃあ遠慮なく



あっ

くっ

っ

ズッ...



あっ

はあ

ズッ

もはやここに居ない
かなえの事なんか
どうでもよくなっていた

はあ

あっ

ズッ

ズッ

目の前に居る眼鏡をかけた
性欲が強い女で
腰を振り続けたい



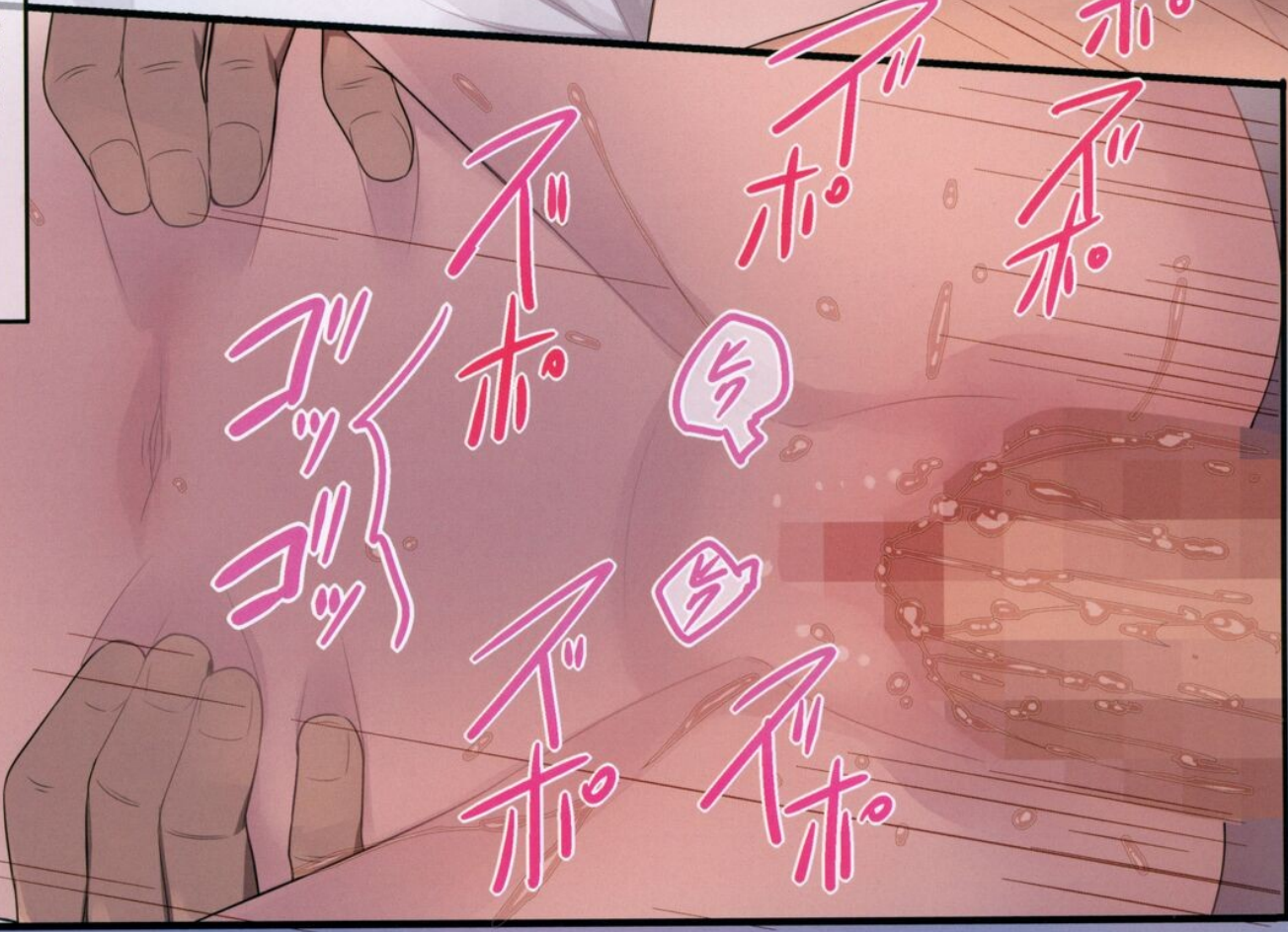
いつもの意思の薄さが嘘みたいだ
腰を打ち付ける度に
熱のこもった反応があるから
普段よりも腰が早く動く



小さな腰を鷺掴みにして
ちんぽをネジ込む度に
熱を持った膣壁が絡みついて
はなみの口から嬌声が漏れる



彼女を生んだかなえと
こんなになるまで開発し続けた
父親に感謝した









■こんにちは。Sodyです。ちっちゃいこの本シリーズも13作めになりました。こんなに続けてこられたのは手に取って下さっている皆様のおかげです！本当にありがとうございます！

■今回は性欲っよっよ眼鏡っ娘と思い出にしがみつくダメなおっさんのお話でした。

清楚っぽい見た目で丁寧な言葉遣いで責めてくる性欲っよっよ眼鏡っ娘ずっと描きたかったんです

■この本は恐らく夏コミで出ていると思うのですが無事僕が会場にいたら4年ぶりの参加となります。今年から5月ティアやぶにけに復帰しましたが生イベントはいいものです。滾りますね。それではっ！ Sody

■無断転載、複製、複写、インターネットへのアップロードを禁止します。

■おくづけ■

描いた人：Sody

サークル：SleeVe

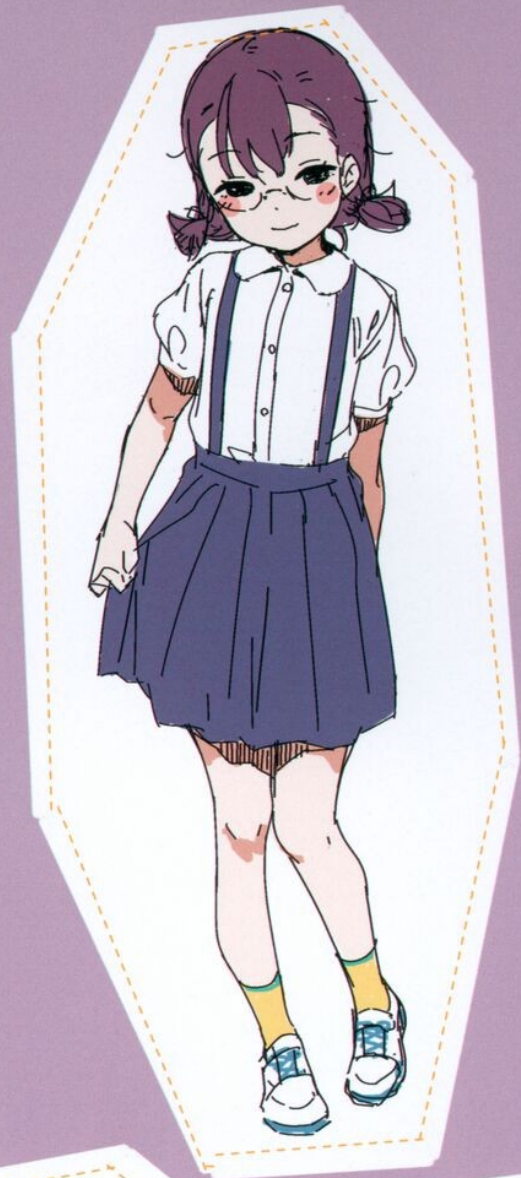
twitter：sody_sleeve

pixivID：268

発行日：2023年8月13日

イベント：コミックマーケット102

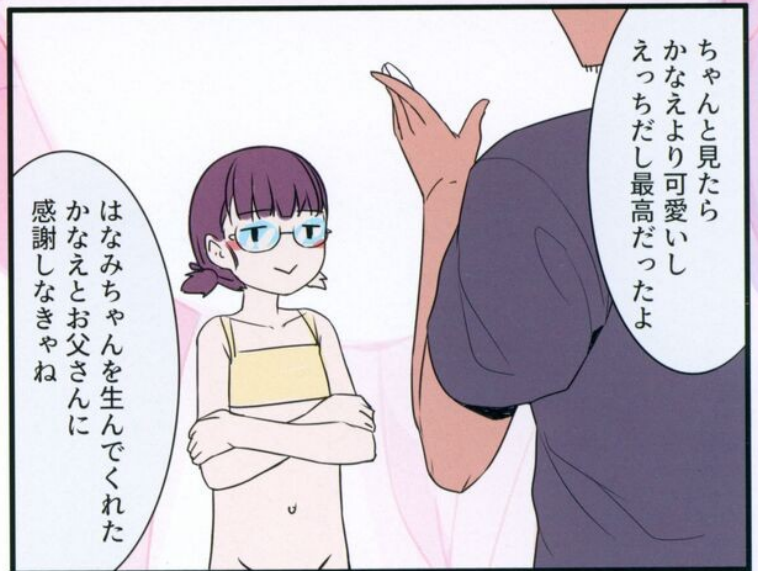
印刷所：サングループ様



せってい

C_book V.13

C_00-g



SLe&e

ちっちゃんいこの本

Vol.13